

比治山大学

子ども発達教育学科

ニュースレター5号

■2022年度 卒業に向けて 4年生の動向

■卒業論文発表会を実施

12月・1月は例年になく、記録的な積雪となりました。後期授業の終盤でしたが、雪にも負けず登校した学生たちは、童心にかえて雪だるまを作って楽しんでいました。

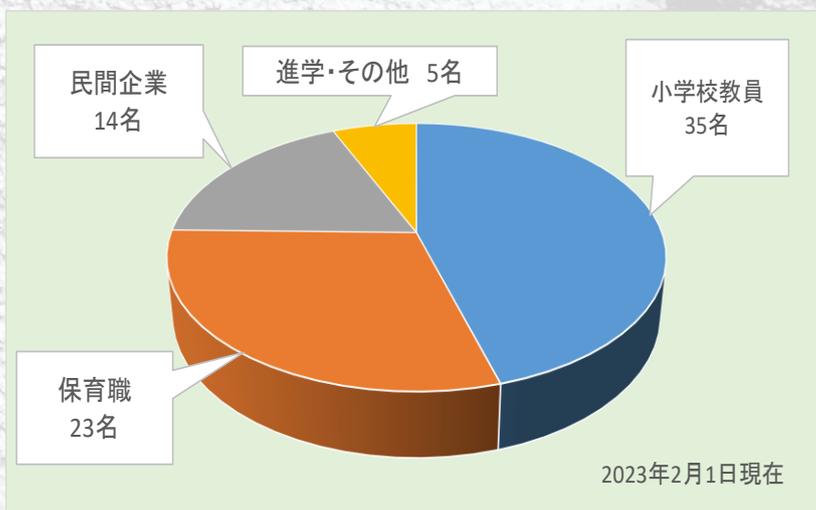
4年生は雪の中、卒業論文発表会を実施しました。4年間の学びの総まとめです。それぞれ、関心のあるものごとを調査・研究して立派に発表していました。3年生が司会進行をつとめ、分科会形式での発表を行いました。発表の後の質疑応答では、研究内容についての質問が行われ、質問者と発表者の真摯なやりとりが続きました。

4年生はこの4月から、先生として子ども達の前に立ちます。卒業論文として取り組んだ研究テーマは保育職、教育職に就かれらの礎となることでしょう。

3年生も、次年度は卒業論文の作成と発表が待っています。



■2022年度 卒業生の就職内定状況



雪の日の6号館入口



HUIYAMA



小学校 教育実習指導の様子

■小学校 教育実習指導

小学校の先生をめざす2年生、3年生を対象とした教育実習指導の授業が行われました。小学校の実習を終えた3年生が、来年度の小学校実習に参加予定の2年生に向けて、実習から学んだこと、準備するとよいことなどを話してくれました。

実習先の学校がある県・市町ごとにグループを作り、それぞれの地域の教育の特性をふまえて話し合います。

■幼稚園 教育実習

11月には、比治山大学短期大学部附属幼稚園で2年生の教育実習が行われました。コロナ対策を万全に行い、グループに分かれて観察実習を実施しました。

同じキャンパス内にある付属幼稚園ですので、安心して実習することができました。ここから様々な保育現場の実習がスタートします。

■保育実習Ⅰ

2月、保育士資格を目指しての実習が行われています。幼稚園実習を終えた2年生が、広島、愛媛、島根各県の保育所での実習に伺っています。前は、グループでの観察実習でしたが、今回は初めて一人の実習生として子どもたちと関わります。

授業で学んだことをもとに想定していた子どもの育ちと実際の様子の違いに驚いたり、準備してきた遊びを子どもたちに披露したり…。

保育現場の楽しさを味わいながら様々な知識と技術を現場から学んでいきます。

3月には、児童福祉施設での実習が控えています。コロナ禍をのりこえて、対面での実践的な学びが戻ってきました！



◆高校生のみなさんへ◆

「小学校・幼稚園・保育所の先生になる。」「将来、子ども関連の仕事がしたい。」そんな夢をもっている高校生に子ども発達教育学科の学びを是非体験してもらいたいと願っています。たくさんのご来場をお待ちしています！

詳細は比治山大学ホームページをご覧ください。

